

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成19年度～平成23年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	釧路根室森林計画区 （くしろねむろ） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 根釧西部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>この地域は、雌阿寒岳（1,499m）を最高峰とし、釧路川、阿寒川、庶路川等の集水域となっている山地で、トドマツ・エゾマツを主体とし、カンバ類・ナラ類等が混交する天然林とカラマツ・トドマツ・アカエゾマツの人工林で構成されている。また下流域には、釧路湿原、別寒辺牛湿原が広がっているとともに、太平洋岸には海岸林がある。河川の集水域となっている国有林は、下流の生活用水、農業用水等の水源として、良質な水資源の安定的供給が求められ、水源かん養機能の発揮が期待されている。また釧路湿原上流域の森林は、湿原の保全にも資する土砂の流出防止等の機能が、別寒辺牛湿原の上流に位置するカラマツ主体の人工林（以下「パイロットフォレスト」という）については、湿原の保全に留意し、水源かん養機能が維持できる範囲で森林資源を有効活用することが期待されている。さらに庶路川と茶路川に挟まれた丘陵地帯は、脆い土質のため土砂の崩壊等を防ぐ山地災害防止機能の発揮が期待されている。</p> <p>また、阿寒国立公園の特別保護地区等に指定されている森林や阿寒湖、屈斜路湖周辺の森林、厚岸道立自然公園に指定されている海岸林、別寒辺牛湿原については、貴重な自然環境や優れた自然景観を有し、保健休養機能の発揮が期待されている。</p> <p>この森林の有する公益的機能の持続的発揮、特に地球温暖化防止や生物多様性等環境保全に貢献するため、積極的な間伐の推進、複層林化・針広混交林化等を促進するための効果的・効率的な育成複層林施業を推進し、健全で多様な森林の整備及び保全を進める。</p> <p>特に、パイロットフォレストにおいては、水源かん養機能等の維持増進が図られる範囲内で、カラマツ等資源の持続的供給を目指す観点から、上層カラマツー下層カラマツの複層林造成に向けた施業を推進していくこととする。</p> <p>地域の水源となっている集水域の森林については、水源かん養や土砂流出・崩壊防止機能の維持向上を図るための森林整備を推進するとともに、地域と協同で森林整備を進めていく方策を検討していく。</p> <p>林道等の路網については、林産物の搬出、森林の育成のみではなく、適切な保全管理等を効率的に行うため必要であり、森林の公益的機能が高度に発揮されるよう機能類型に応じて計画的に整備する。</p> <p>また、民有林林道の開設計画との調整を図るとともに、周囲の環境との調和やコストの縮減、継続的に利用する作業道等の整備にも努め、効果的・効率的な整備を推進する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">3,963 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">19,147 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">32.9 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">96.7 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	3,963 (ha)			保育面積	19,147 (ha)		路網整備	開設延長	32.9 (km)			改良延長	96.7 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	3,963 (ha)																
		保育面積	19,147 (ha)																
	路網整備	開設延長	32.9 (km)																
		改良延長	96.7 (km)																
費用対効果分析	総費用 (C)	5,124,512 (千円)																	
	総便益 (B)	水源かん養便益	15,926,649 (千円)																
		山地保全便益	27,370,836 (千円)																
		環境保全便益	775,063 (千円)																
		木材生産便益	2,424,583 (千円)																
		森林整備経費縮減等便益	267,146 (千円)																
		計	46,764,277 (千円)																
	分析結果 (B/C)	9.13																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																		